

第12号様式

(表面)

産業廃棄物処理施設等における処理実績報告書

年度

(あて先) 川崎市長

記入例

処理施設の所在地を記入してください。
(事業者と同一の場合は、「同上」と記入してください。)

報告者
住所
氏名
(法人にあつては名称及び代表者の氏名)
電話番号
FAX番号
担当者

事業者又は事業者の委任を受けた事業場の責任者の住所、氏名、電話・FAX番号を記入してください。
なお、担当者の部署、氏名も併せて記入してください。

年度の産業廃棄物処理施設等における処理実績について、川崎市廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び浄化槽法施行細則第13条第2項又は第31条の規定により、次のとおり報告します。

産業廃棄物処理施設等の所在地	許可番号	x d				
産業廃棄物処理施設等の種類						
処理した産業廃棄物の年間処分量 (単位 t・m ³)		処理後の産業廃棄物の処分量 (単位				
種類	年間処分量	種類	排出量	処分先名称	許可番号	処分方法

施設が複数あるときは、施設ごとに別々の報告書に記入してください。

施設の許可番号も忘れずに記入してください。処分量の許可番号とは異なります。

その他の記入例は別紙を参照してください。

施設で処理した廃棄物の種類ごとに、年間処分量及び処理後の産業廃棄物の処分先等について記入してください

単位は、「m³」又は「t」で必ず記入し、位取り(,)、小数点(.)は、明確に記入してください。

処理後の産業廃棄物の処分先について、処分先の名称・許可番号を記入してください。

処分方法(中和、焼却埋立てなど)を必ず記入してください。

産業廃棄物処理施設等における実績報告書記入上の注意事項

- 1 この報告書は、施設の種類ごとに前年度の処理実績報告状況について毎年6月30日までに報告するものです。
今年度の報告は平成18年4月1日から平成19年3月31日までの処理実績状況について平成19年6月30日まで川崎市環境局生活環境部廃棄物指導課までお願いします。
昨年度処理施設での処理実績がない場合にも、年間処分量「0」として必ず提出して下さい。
- 2 「No.」には、報告書が複数枚になるときに通し番号を入れて下さい。また、最終ページは「No.」を で囲って下さい。
- 3 記入上の注意事項
 - : 報告者及び担当者
報告者は設置者本人又は本報告に関して設置者から委任された事業場の責任者の住所、氏名、電話番号、FAX番号を記入して下さい。(会社印は押印していただかなくても構いません。)また、後日報告書の記載内容について問合せをする場合がありますので、担当者の部署、氏名、連絡先も合わせて記入して下さい。
 - : 産業廃棄物処理施設等の所在地
産業廃棄物処理施設が設置されている場所を記入して下さい。
事業者と同一の場合は、「同上」と記入して下さい。
 - : 産業廃棄物処理施設棟の種類、許可番号
施設の種類及び設置(変更)許可番号(又は設置届出番号)を必ず記入して下さい。
なお、同一の施設で複数の処理施設を兼ねる場合にはそれらの施設の種類の同一の枠内に記入して下さい。
[例: 汚泥、廃油、廃プラスチック類の焼却施設]
 - : 処理した産業廃棄物の種類
処理した産業廃棄物ごとに「種類」の欄に記入して下さい。
[例: 汚泥の焼却施設であって、廃油の焼却施設でもある場合には汚泥と廃油を別の欄に記入して下さい。]
 - : 年間処分量
 - 1) 処理した産業廃棄物の種類ごとに年間処分量を記入して下さい。
 - 2) 単位の記載は、固形物は[t]、液状又はでい状物は[m³]を極力使用して下さい。

3) 平成18年度の処理実績がない場合であっても、必ず「0」又は「実績なし」と記入して下さい。

4) 混合物を記載する場合は、それぞれの年間処分量を産業廃棄物の組成比率により按分し、種類ごとに分けて各年間処分量を記入して下さい。

「処理後の産業廃棄物の処分量について」

: 種類

処理後の産業廃棄物（産業廃棄物処理施設で処理した後に生じた産業廃棄物）の種類ごとに「種類」の欄に記入して下さい。

: 排出量

処理後の産業廃棄物の量を記入して下さい。

: 処分先名称、許可番号

処理後の産業廃棄物について、委託処理の場合には処分業者等の名称及び処分場所の都道府縣市名並びに許可番号を記入して下さい。

その他の場合には、自社処理、売却等を記入して下さい。

: 処分方法

処理後の産業廃棄物の処理方法について、焼却、管理型埋立、再利用等を具体的に記入して下さい。

: 処分量

処理後の産業廃棄物の処分量を の処分方法ごとに記入して下さい。

処理年度（平成18年度）及び報告年月日の記入も忘れずをお願いします。